

北総鉄道株式会社
千葉ニュータウン鉄道株式会社

安全報告書 2022



安全報告書 2022 目次

1. ご利用の皆様へ 1

2. 北総鉄道路線図・成田スカイアクセス分界 2

- ・北総鉄道路線図
- ・成田スカイアクセス分界

3. 安全に対する基本方針・安全重点施策 3

- ・輸送の安全を確保するための基本的な方針
- ・2021年度 安全方針・安全重点施策

4. 安全管理体制と安全管理方法 5

- ・安全管理体制
- ・安全管理方法

5. 列車の安定輸送を実現するための取り組み 9

6. テロ・防犯対策の取り組み 11

7. 安全確保に対する取り組み 13

- ・安全確保のための措置
- ・駅の安全対策
- ・車両の安全対策
- ・災害対策
- ・災害発生時の取り組み
- ・安全に関する教育
- ・乗務員の健康状態の確認
- ・事故等の発生状況

8. 新型コロナウイルス感染予防に対する取り組み 28

9. ご利用のお客様へのお願い 29

- ・電車を安全にご利用いただくために

(※) 報告書の記載内容のうち特に会社名が明記されてない事項については、北総鉄道と千葉ニュータウン鉄道が一体となり取り組んできた内容となっています。

1. ご利用の皆様へ



第1種及び第2種鉄道事業者
北総鉄道株式会社

取締役社長 **室谷 正裕**

平素より北総鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

当社は、鉄道事業の運営にあたり、最も重要である「安全・安定輸送」を絶えずお客様にご提供できるよう、全社員が輸送の安全確保を最大の使命と認識し日々の業務に取り組んでおります。

そのなかで 2020 年 6 月に京成電鉄青砥駅構内で発生した当社所属車両の列車脱線事故については、本年 3 月に運輸安全委員会より「鉄道事故調査報告書」が公表されました。当社においては、同報告書の理解の徹底を図るとともに、再発防止策を確実に実施することで、二度とこのような事故を発生させないよう努めてまいります。

2021 年度の安全に関する施策につきましては、前年度に引き続き、レール交換や変電設備等の更新、全線 C-ATS 化（高機能の自動列車停止装置）に向けた工事を行うとともに、列車無線デジタル化については順次使用開始を行い、さらなる安全設備面の充実を図りました。

また昨年度、当社線において長雨の影響により鉄道敷地外から土砂等が流入し、長時間にわたり列車の運転を見合わせる事象が発生したことや、同業他社において発生した列車内での傷害事件など、昨今の激甚化する自然災害や、鉄道施設を対象としたテロ事件等に対して必要な対策を講じるとともに、職員へのより実践的な教育・訓練の実施など、ハード・ソフトの両面から、より一層の保安度の向上や異常時における対応力の強化に取り組んでまいりました。

新型コロナウイルス感染症対策では、引き続き社員の感染予防に万全を期し、安定輸送の維持に努めるとともに、お客様に安心して当社線をご利用いただけるよう、駅施設や電車内の消毒、抗菌・抗ウイルス加工など感染防止策に取り組んでおります。

2022 年 5 月、当社は創立 50 周年を迎えることができました。これは、日頃より当社線をご利用のお客様をはじめ、沿線自治体や関係機関の皆様のご支援によるものと感謝しております。

これからも、より安全で安心な鉄道を目指し、また、沿線地域のさらなる発展に貢献できるよう、京成電鉄及び千葉ニュータウン鉄道と連携し、全力で取り組んでまいります。

本報告書は、当社における安全への取り組みについて、皆様にご理解いただくために作成したものです。是非、ご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



第3種鉄道事業者
千葉ニュータウン鉄道株式会社

取締役社長 **田中 亜夫**

平素より千葉ニュータウン鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

当社は、北総線の小室駅～印旛日本医大駅間 12.5 ㌾の鉄道施設と、40 両の車両を保有する第3種鉄道事業者であり、それらの設備を第2種鉄道事業者に賃貸しております。

当社は京成グループの一員として、グループ経営理念である「お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを安全・快適に提供する」ことを目標とし、グループ行動指針に掲げる「安全・安心を第一に行動する」ことを実践しております。

今後も、北総鉄道と連携し、輸送サービスの向上ならびに千葉ニュータウンのさらなる発展に貢献できるよう、輸送の安全確保に取り組んでまいります。



2. 北総鉄道路線図・成田スカイアクセス分界

北総鉄道路線図



成田スカイアクセス分界

	京成 上野 駅	京成 高砂 駅	小 室 駅	印 旛 日 本 医 大 駅	分 界 点	成 田 空 港 駅
	12.7km	19.8km	12.5km	10.7km	8.4km	
第1種鉄道事業者 (運送 + 財産)	京成電鉄	北総鉄道				
第2種鉄道事業者 (運送)			北総鉄道			
第3種鉄道事業者 (財産)			千葉ニュー タウン鉄道	成田高速鉄道 アクセス	成田空港高速鉄道	
運行管理業務	京成電鉄	北総鉄道	京成電鉄			
保守業務	京成電鉄	北総鉄道	京成電鉄			



3. 安全に対する基本方針・安全重点施策

輸送の安全を確保するための基本的な方針

お客様に安全・迅速・快適に当社線をご利用いただけるよう、私たちは「京成グループ経営理念」と「京成グループ行動指針」に基づき、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、鉄道施設、車両及び社員を総合的に活用して輸送の安全を確保します。

京成グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

京成グループ行動指針



2021年度 安全方針・安全重点施策

経営トップ（社長）とともに輸送の安全の確保を図るべく、会社全体的な意図及び方向性を明確に示した安全方針を策定しております。また安全方針に従い、重要で優先的に取り組むべき具体的な課題を安全重点施策として策定し、各部門においては安全重点施策に基づいた安全管理活動に取り組んでおります。安全方針・安全重点施策については毎年度見直しを行い、必要に応じ変更しております。

安全方針

安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めます。

1. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正・忠実に職務を遂行します。
2. 事故・災害等が発生したときは、速やかに安全適切な処置をとります。
3. 常に向上心を持ち、必要な工夫・改善に努め、安全且つ快適な環境を提供します。

安全重点施策

(1)北総線及び成田スカイアクセスの安全・安定輸送の継続

(2)安全管理体制の更なる強化

- ・ 事故やヒューマンエラー撲滅への取り組み強化
- ・ 安全に関する内部監査の充実
- ・ 協力会社と一体となった安全管理の強化
- ・ お客様と連携した安全対策の充実
- ・ 社員相互間のコミュニケーションの強化

(3)駅ホーム安全対策の着実な推進(声かけサポート運動等)

- ・ 列車等の駅ホーム進入出時の監視の徹底

(4)鉄道施設の安全性向上及び老朽化対策の推進

- ・ 列車無線デジタル化・C-A-T-S化等工事の推進
- ・ 自然災害対応への施設の計画的更新

(5)鉄道テロ行為及び列車妨害行為への対応強化

- ・ オリンピック・パラリンピックの開催に伴うテロ対策の強化

(6)異常時の対応強化

- ・ 早期復旧のための管理体制の整備（仮復旧までの時間短縮化を図る）
- ・ 災害・事故等事例の検証と対策

(7)新型コロナウイルス等感染症対策の徹底

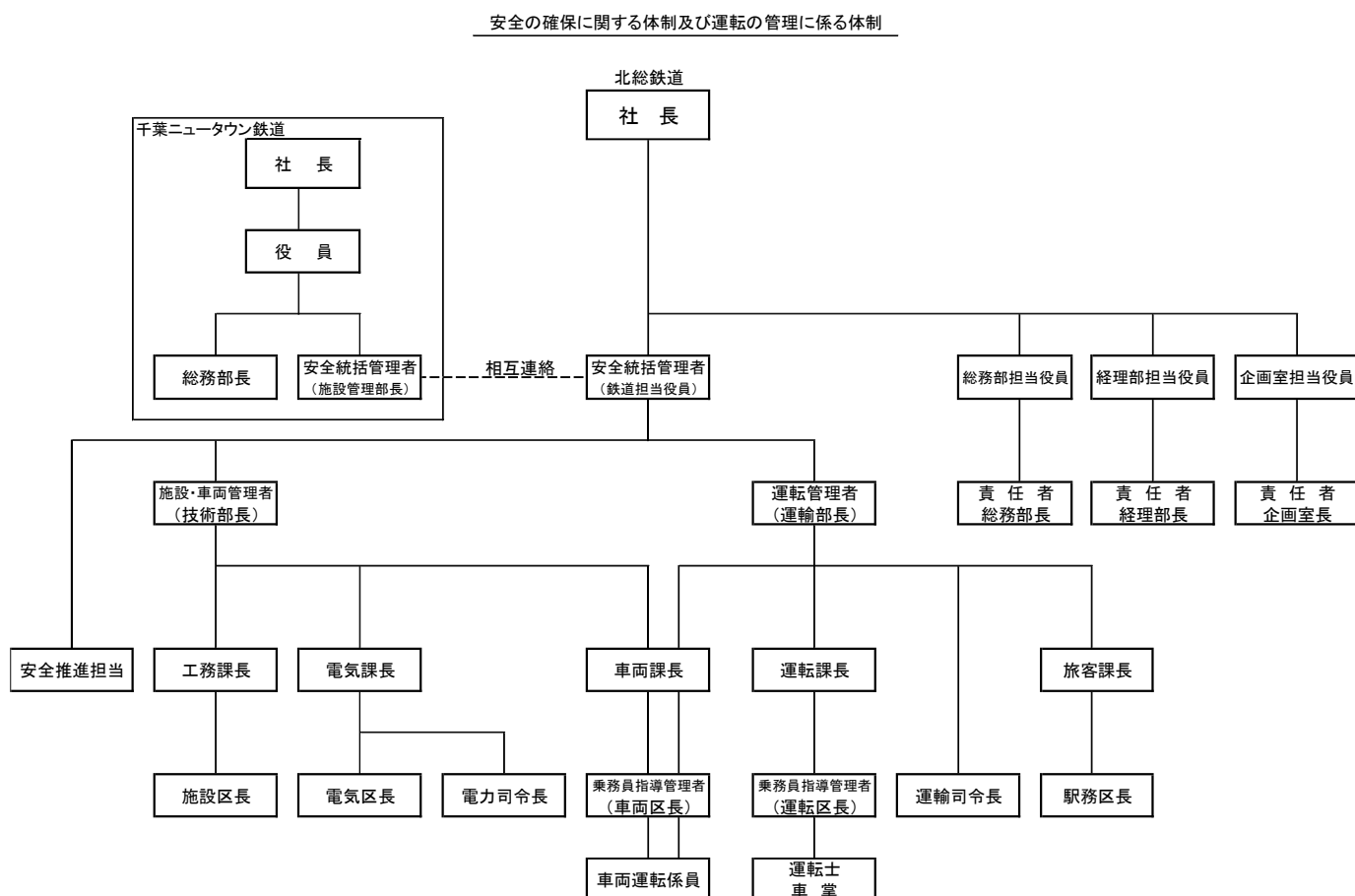


4. 安全管理体制と安全管理方法

安全管理体制

当社は2006年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理体制を敷いています。また2010年4月1日には、より一層の安全管理体制の強化を図るために、新しく安全推進担当を設置しました。

・体制図



・安全管理者の役割

北総鉄道

役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者（鉄道担当役員）	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者（運輸部長）	安全統括管理者の指揮のもと、運転に関する事項を統括する
施設管理者・車両管理者（技術部長）	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設及び車両に関する事項を統括する
乗務員指導管理者（運転区長・車両区長）	運転管理者または車両管理者の指揮のもと、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する
安全推進担当	内部監査を実施し、安全管理体制が適切に運営されていることを検証するとともに、安全性向上のための施策を安全統括管理者に提言する
その他の責任者（総務部長・経理部長・企画室長）	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事項を統括する

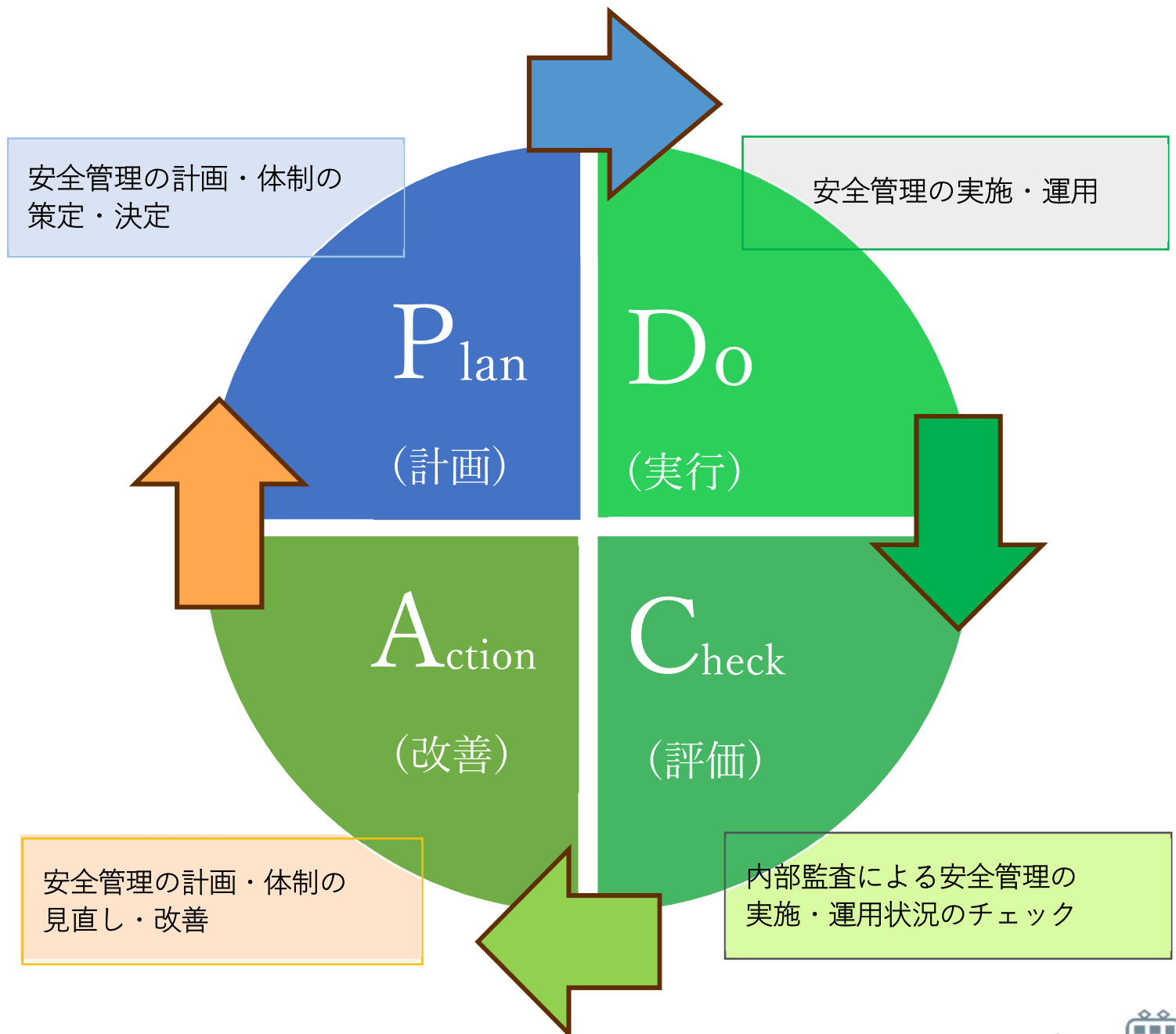


役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者（施設管理部長）	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
施設管理部長	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設に関する事項を統括する
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事項を統括する

安全管理方法

安全管理体制に基づき、経営トップの意見をはじめとする鉄道の安全に関する情報の共有化を図り、本社と現場が一体となり、継続的な「PDCA サイクル」によって随時見直しを行っています。また、安全推進担当を中心に各部門への安全に関する内部監査を実施するとともに、安全に関する様々な対策等の討議を目的とした安全推進会議の実施など、安全管理の強化に取り組んでいます。

・安全管理に係るPDCAサイクル



・安全に関する内部監査の実施

日本民営鉄道協会主催の「運輸安全マネジメント内部監査員研修」を修了した監査員による内部監査を毎年継続的に実施し、安全管理体制が適切かつ有効に運用されているかを検証しています。

この安全に関する内部監査は、毎年継続的に経営トップの社長・安全統括管理者をはじめ、運輸・技術部門（現業を含む）ならびに一般管理部門を対象に実施しています。

また、京成グループの鉄道各社が同席し、監査終了後に意見交換を行う等、グループ相互間での内部監査体制の充実を図っています。



経営トップへのインタビュー



運輸部現業部門へのインタビュー

・安全推進会議

安全推進会議とは、安全統括管理者を議長に、運輸・技術部門の管理職を構成メンバーとして開催される月例会議で、安全に関する様々な施策等（事故等の報告・分析及び再発防止策の討議・他社事故事例の情報共有等）について話し合い、事故の撲滅を図り、安全の確保に努めています。



・他社の事故事例の対応

運輸安全委員会から発表される事故等調査報告書や他社で発生した事故事例について、関係部署と情報共有を図り、速やかに当社の状況を確認し、類似事故の防止に努めるとともに、社員の安全意識の向上を図っています。

・ヒヤリ・ハット

当社では、日頃から社員・協力会社に対してヒヤリ・ハット情報の提供を呼びかけ、収集に努めています。収集したヒヤリ・ハット情報は、毎月実施する安全推進会議において情報共有を行うとともに、一覽にまとめ各職場に配布し、全社員に周知を図り、類似する事象が起因となる事故等の未然防止に役立てています。

【ハインリッヒの法則】

1 件の重大な事故・災害の背後には、29 件の軽微な事故・災害があり、更にその背後には 300 件のヒヤリ・ハット（作業中等に「ヒヤリとしたこと」や「ハットとしたこと」を指し、事故に至る可能性のあった事象）があるという法則です。



・社長、安全統括管理者等の巡視

春の全国交通安全運動、夏季輸送安全総点検、秋の全国交通安全運動、年末年始輸送安全総点検等の期間に、社長や安全統括管理者を含む全役員が職場や作業現場の巡視を行い、現場の状況を把握するとともに、安全に関する取り組みの確認や、現業社員との対話等を通じて安全に関する意識の高揚を図っています。



社長巡視（施設区）



安全統括管理者巡視（電力指令所）

・コミュニケーションの強化と職場環境向上への取り組み

毎年、安全統括管理者と運輸部・技術部の現業長との意見交換会を実施し、また運輸部・技術部では毎月、本課と現業長を交えた定例会議（部・課内会議）を開催し、現状における各現業での取り組みや課題などを話し合い、安全に関する共通認識を持ち、またその内容について各職場に水平展開し、各職場のコミュニケーション強化と職場環境の向上に取り組んでいます。

社員の声

駅務区 駅務掛 野元 荘汰

私たち駅係員は、お客様に安全、そして安心して電車をご利用いただけるよう、駅構内の巡回強化に努めています。お客様がご利用になる駅設備等に不具合や故障がないか、プラットフォームやコンコースなどで、特に人目のつきにくい場所を含め、不審物などの有無を入念に点検するとともに、またプラットフォームへ出向いたときは、電車の進入から進出まで、お客様が安全に電車にご乗降できるよう監視しています。また、通過電車の際は、お客様やお手荷物等が線路上に落下するなどの危険なときに、直ちに電車を停止させることができるよう、駅備え付けの非常停止ボタンを押せる位置に立哨し監視しています。

他にも、車椅子をご利用のお客様をご案内するときは、必ず時間に余裕をもってご案内することや、降車される駅への連絡についても徹底しています。

今後も、より多くのお客様に安全・安心、そして地域にやさしい北総鉄道をご提供できるよう努めていきます。



5. 列車の安定輸送を実現するための取り組み

・運輸指令所

お客様に安心してご利用いただくため、全ての列車が安全、かつダイヤ通りに運行できるよう、システムによる自動制御と運輸司令の知見等により列車運行を集中管理しています。



運輸指令所

社員の声



運転区 車掌 野田 菜月

私たち乗務員は、日頃より安全に対する高い意識を持ち乗務しています。

乗務中は、意識を込めた指差確認喚呼をはじめとした確実な基本動作の励行により安全輸送に努めるとともに、休憩中も乗務員同士の情報共有を積極的に行い、知識・技能の向上を図っています。

また昨今は、新型コロナウイルスの感染が懸念されているため、手洗い、うがい等の感染対策を図り、自己の健康管理にも留意しています。

この先も常にお客様の命をお預かりしている責任の重さを忘れずに安全輸送に努め、お客様に、安全・安心な環境を提供出来るよう目指していきます。

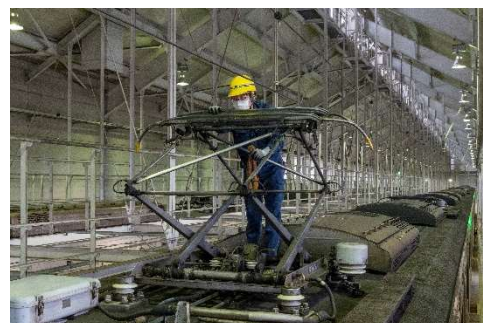
・車両、工務、電気の保守点検

【車両の保守点検】

車両の運行状況に応じ列車検査（10日を超えない期間で実施する検査）及び月検査（3カ月を超えない期間ごとに実施する検査）を行っています。



床下機器類の点検



パンタグラフの点検

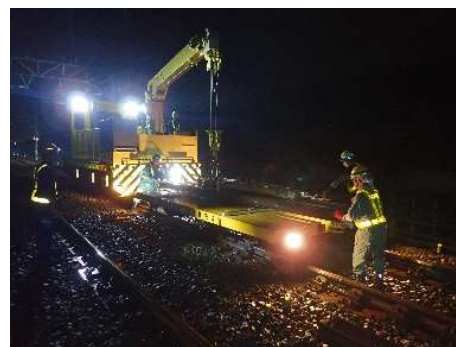


【工務の保守点検】

線路やトンネル、駅などの鉄道構造物の保守、点検を行っています。



レールの測定



レールの交換作業

【電気の保守点検】

信号機などの保安設備、変電所等の電気設備の保守、点検を行っています。



信号機の点検



電車線の点検

・鉄道の安全を守る保守作業車



20 t 軌道モーターカー



25 t 積桁運搬車



マルチプルタイタンパー



ダンプトロリ



6. テロ・防犯対策の取り組み

当社では鉄道におけるテロ等の犯罪未然防止策として、駅構内及び列車内における不審者や不審物の早期発見に係るお客様への協力要請放送やポスターを掲出しています。また、警察・消防等と連携し、万一に備えて被害を最小限にとどめるための取り組みについても実施しています。

・テロ等に関する対策講演会・訓練

沿線の警察と連携しテロ等の鉄道妨害行為の事例紹介及び対策等の講演会を毎年実施しており、防犯に対する理解と意識の高揚を図っています。

また沿線の警察と合同で実際の駅で訓練を実施し、緊急時の場合でも円滑な連携を執れるようにしています。鉄道施設内で傷害事件が発生した際に、駅係員・乗務員がお客様を安全に避難誘導できるよう防護盾・防刃手袋を列車及び駅に配備しています。

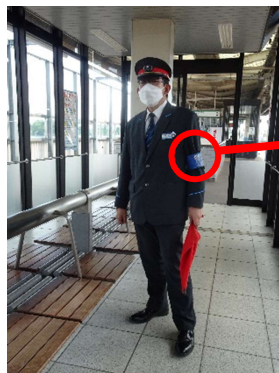


テロ対策講演会

・駅係員等による巡回

駅係員や警備員及び本社職員による警備腕章を着用した駅構内・列車内の巡回を行い、不審物(者)への警戒のため「見せる警備」を実施しています。

また、沿線警察署にも駅構内を含めた鉄道施設の警戒強化を依頼しています。



警備腕章



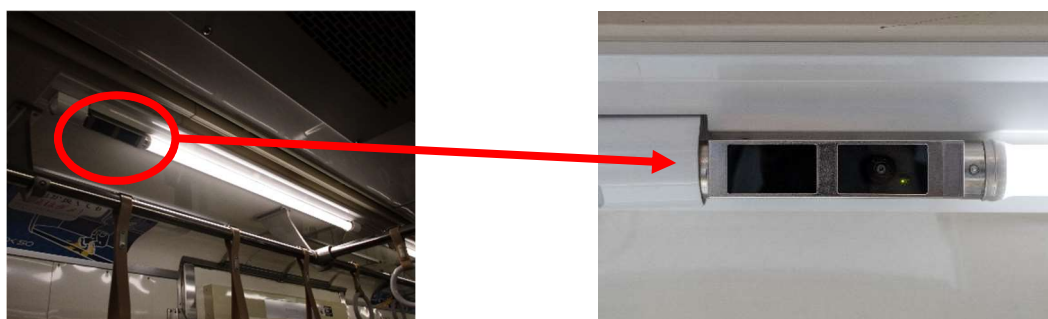
・防犯カメラの設置

駅構内や車両基地等に防犯カメラを設置しています。また、「防犯カメラ作動中」のステッカーを貼付し、テロや犯罪行為等の未然防止を図っています。



・車内防犯カメラの設置

車内における犯罪行為の未然防止のため、2019 年度より車内防犯カメラの設置を推進しています。



・お客様への不審物(者)発見に関する協力の呼びかけ

駅構内及び列車内における不審物(者)の早期発見のため、お客様への協力依頼の啓発放送や駅表示器による呼びかけを実施しているほか、当社車両の各乗降扉に不審物(者)発見時の鉄道係員への通報をお願いするステッカー(日本語・英語)を貼っています。また、委託業者に「不審物(者)の発見に協力しています」のワッペン着用警備を強化し、鉄道テロ等の未然防止に取り組んでいます。



7. 安全確保に対する取り組み

当社では輸送の安全確保を目的として、重要度の高いものから順に効果的かつ効率的に設備改良等を実施しています。2021 年度においては、老朽化したレールの取替、変電所の設備更新を実施しました。

その他日常的に、法令に定められた点検周期や点検項目に基づき、鉄道施設及び車両について所定の機能を維持・発揮できるよう定期的点検及び検査を実施し、安全で快適な環境を提供するため日夜整備に努めました。なお、設備の不備に対してはその都度補修を実施しました。

安全確保のための措置

・C-ATS概要

現在、列車の保安設備として、北総線の各連動駅(ポイントのある駅)構内に、高機能ATS(C-ATS)を導入していますが、更なる列車運行の安全性向上を目指し、連動駅構内以外の駅間においても全線C-ATS化整備を進めています。これまでに京成高砂～東松戸駅間のC-ATS化が完了し、2021 年度は東松戸～新鎌ヶ谷駅間の工事に着手しました。



・列車無線デジタル化

更なる安全性向上を目的として、2018 年度より列車無線装置を現行のアナログ方式からデジタル方式へ変更するための改良工事を開始しており、2021 年度より順次使用開始し、2022 年度に全編成への導入完了を予定しています。これにより、運輸司令と複数列車の乗務員が同時に通話することが可能となり、運行異常時等における情報収集や伝達の迅速化が図られます。また、列車の乗務員用モニターに運行に関する情報を文字で表示することで、より正確な情報提供を行うことが可能となります。

・安全への投資

毎年度、下表の通り鉄道事業における安全対策に対して投資を行っています。

安全に対する設備投資金額

(単位:百万円)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
北総鉄道	1, 570 [77%]	989 [70%]	1, 076 [76%]
千葉ニュータウン鉄道	452 [80%]	264 [79%]	477 [86%]

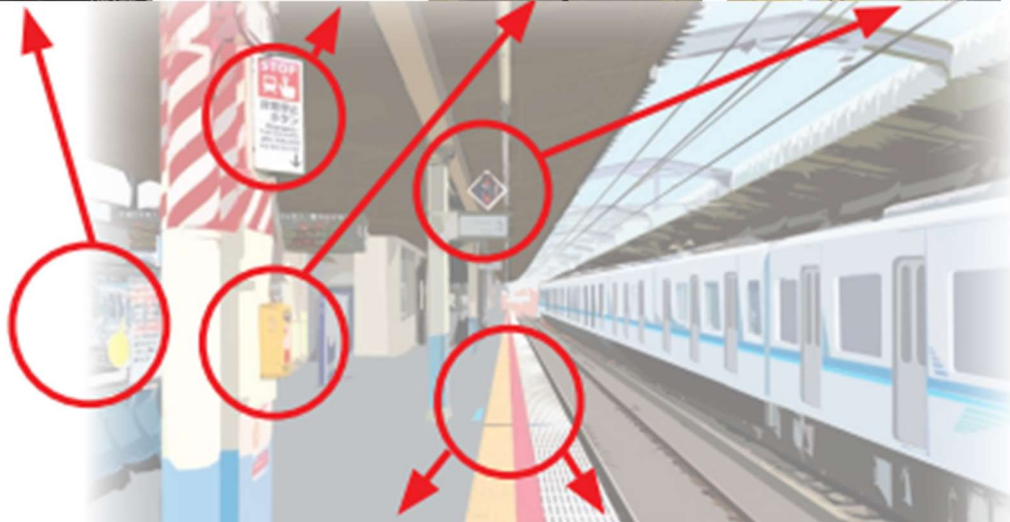
[] 内は全体の鉄道事業設備投資額に対する安全関連設備投資額の割合



駅の安全対策

・列車非常停止装置

お客様が線路内に転落した時や線路内に障害物を発見した場合、お客様や係員がホーム上の「非常停止ボタン」を押すことにより、近くを走行中の列車の乗務員に異常を知らせ列車を自動的に緊急停止させます。また、お客様に非常停止ボタンの設置箇所が一目でわかるよう、赤白ゼブラテープや看板を設置するとともに使用方法についてポスターを掲示しています。



・内方線付き点状ブロック

目の不自由なお客様がホームから転落するのを防止するため、全駅のホームに「内方線付き点状ブロック」を設置しています。点状ブロックの内側に線状の突起がついていて、ホームの内外が判別できるようになっています。

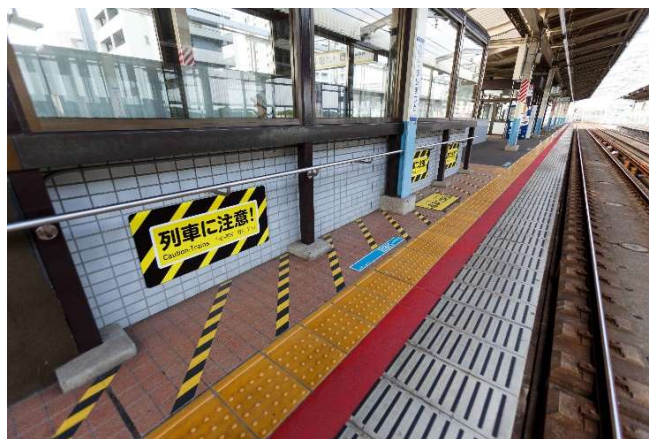
・CPライン

ホーム上の安全を確保するため、視覚的・心理的にホーム端部の危険性を訴え、注意喚起を行い電車との接触事故を防止することを目的としています。



・通過列車注意表示

駅ホームの狭小部床面に警戒ライン及び「列車に注意！」を表示し、お客様への注意喚起を行っています。また、必要な箇所に手すりを併設し、ホーム上のお客様の安全性の向上を図っています。



・車掌用 ITV(車掌用監視モニター)

車掌が電車を出発させる際に、扉やホームの安全を確認するため、「車掌用ITV」を設置しています。



・青色照明の設置

自殺による死傷事故を防止するため、人の気持ちを落ち着かせる効果があるといわれている青色照明を設置しています。



・ホームベンチの向きの変更

ホームのベンチを線路に対し、垂直に設置することでホームからの転落事故防止に効果があることから、ベンチの向きを変更する取り組みを進めています。



・駅施設のバリアフリー化

ご高齢者やお身体の不自由なお客様が安全・快適に駅施設をご利用いただけるよう、車いす対応のエレベーターや多機能トイレ等を全駅に設置しています。



エレベーター



多機能トイレ



車いす用スロープ

・目の不自由な方へのご案内

国土交通省の旅客施設における音声による移動支援方策ガイドラインに基づいて、お客様及び目の不自由なお客様を券売機、改札口、階段、エスカレーター、エレベーター、トイレ等へ音声で案内誘導するための音声誘導装置及び駅構内配置を示した触知図を全駅設置しています。



・AED(自動体外式除細動器)

安全に安心してご利用いただける駅を目指し、各駅改札口付近にAEDを全駅に設置しています。なお、駅係員・乗務員においては応急手当や救命措置が適切に行えるよう普通救命講習等を受講しており、いざというときは速やかな対応が取れるようにしています。



車両の安全対策

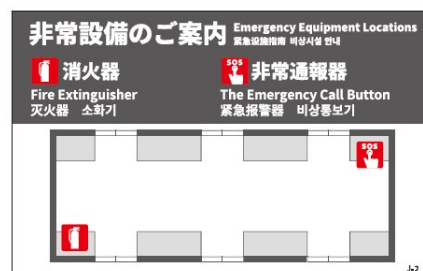


① 非常通報器

列車内で非常事態が発生した場合等に備え、乗務員に通報することができる非常通報ボタンを各車両に設置しています。また、お客様に非常通報ボタンの設置場所をご案内するため、各車両に非常設備のご案内を掲示しています。



非常通報器



非常設備ご案内ステッカー

② 車いす、ベビーカースペースの設置

車いす、ベビーカーをご利用のお客様が混雑時にも利用できる専用スペースを当社の全ての編成に設置しています。



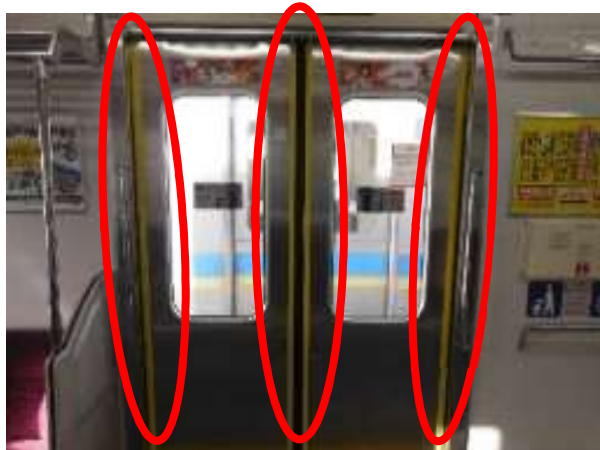
③ 車内案内表示装置



4 カ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)による行き先や停車駅案内のほか、安全啓発に関するお知らせや事故災害等異常時の際の状況に応じた情報提供を2カ国語(日本語・英語)で表示できる機能を搭載しています。

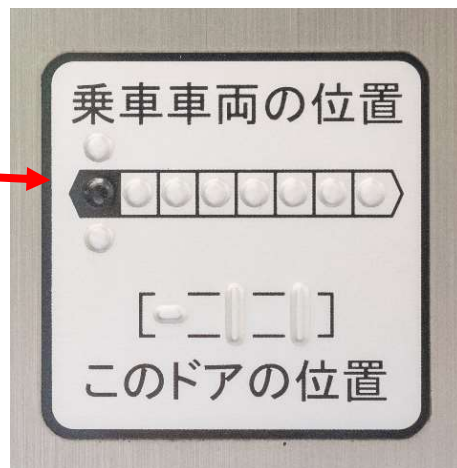
④ 乗降扉の注意喚起シール

ドア開閉時のお客様の引込み・挟まりを防止するため、各車両の全ての乗降扉の端部に扉を容易に認識できる注意喚起テープを貼付しています。



⑤ 車内点字案内表

目の不自由なお客様に対し、車内の乗車位置が確認できるよう、全車両の全ての扉に「乗車車両の位置」及び「ドアの位置」の点字表示を行っています。



・車内の4カ国語放送

車内における成田空港方面への乗換案内をICレコーダーにより4カ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)で行っています。また、事故発生時等に対応した放送も可能で異常時にも訪日外国人のお客様へスムーズな案内を行うことができます。



・転落防止用幌

各車両連結部の隙間に、お客様が誤ってホームから線路上へ転落しないように、転落防止用幌を設置しています。



・運転士異常時列車停止装置

運転士の体調が急変した場合等に備え、ハンドルから手が離れると非常ブレーキが動作する装置で、全ての運転席に設置しています。



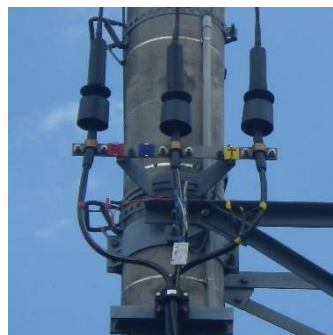
災害対策

・塩害対策

2018年の台風24号の塩害に伴い、県内の一部の鉄道事業者では送電線が停電し列車の運転見合せが発生しました。これを受け、当社では2018年度より高圧引込み端末の耐塩型への交換を行っており、これまで179箇所の交換を実施し、2021年度に残り19箇所の交換を行い端末の耐塩化が全て完了しました。



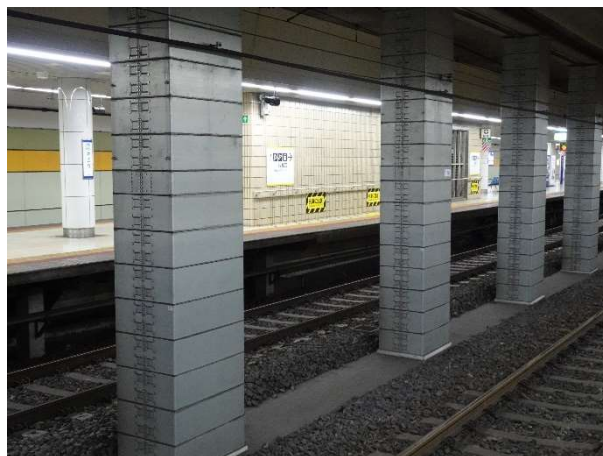
交換前



耐塩型端末

・耐震補強

首都圏直下地震等の大規模地震に備え、高架橋柱の耐震補強や橋梁の落下防止、トンネル中柱の耐震補強等、鉄道土木構造物を補強し、より地震に強い鉄道施設になっています。

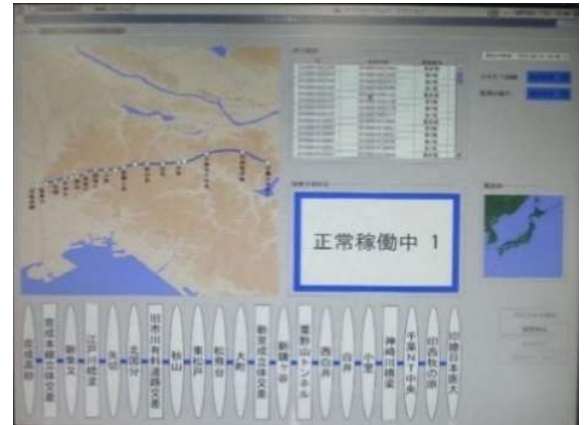


矢切駅 耐震補強された柱



・早期地震警報システム

気象庁が発表する緊急地震速報を利用した早期地震警報システムを導入し、地震による被害の抑制を図っています。



・気象観測総合システム

運輸指令所に、気象観測総合システムを配備し、当社線に整備された気象観測装置（地震計 3 箇所、風速計 4 箇所、雨量計 3 箇所、レール温度計は 3 箇所）から送信された観測データを監視しています。運転規制を伴う規制値を観測した場合、速やかに乗務員へ運転規制を指示し、異常気象時における列車運行の安全確保に努めています。



風速計



雨量計



地震計

路線図	状況一覧	異常履歴	異常履歴	地震履歴	異常解除	大画面	設定変更
路線図	状況一覧	異常履歴	異常履歴	地震履歴	異常解除	大画面	設定変更
地震計	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴
風速計	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴
雨量計	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴
温度計	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴	異常履歴

監視用 PC 画面

・緊急車両

異常時、速やかに点検・復旧を行うため、緊急自動車を 2 台保有しており、また大規模災害等の発生時に通行禁止区間等の走行が可能になる「緊急通行車両」の届出も行っています。また、駅間で列車が停止した場合等に備え、「軌道自転車」を駅に配備し、係員が速やかに現場に駆け付けられる体制を整えています。



緊急自動車



軌道自転車



災害発生時の取り組み

・異常時対応訓練

北総線内で事故が発生した場合の早期復旧に向けた初動対応、及び関係機関との連携強化を目的に、毎年、全社的に訓練を実施しています。

2021 年度は軌道脇の法面が崩壊し走行中の列車が土砂に乗り上げたことを想定し、乗車旅客の避難誘導及び車両及び鉄道施設の復旧訓練を実施しました。



・地下駅の火災、停電対策

地下駅である矢切駅では火災・停電等の対策として、排煙設備、非常用発電機、屋内消火栓設備等を整備しています。ホームには避難経路図を設置し万一の事態に備えてお客様にお知らせしています。

また、駅係員による消防設備の取扱い訓練を毎年実施しています。



防災総合監視盤



非常用発電機



避難経路図



消防設備取扱い訓練



・防災訓練

毎年、震度5クラスの地震が発生したことを想定した発災対応訓練を実施し、現場や関係機関との情報伝達が迅速かつ的確に行われることを確認しています。



訓練時の対策本部の様子

・お客様用備蓄品の配備

大規模災害時等で帰宅が困難なお客様のために、駅に備蓄品（飲料水、食料、アルミブランケット、簡易トイレ）を配備しています。



飲料水



食料



ブランケット



簡易トイレ

・緊急時支援活動用ワッペン

社員が通勤や私用で当社線を利用しているときに、事故や災害等に遭遇し、急遽現場で支援活動を行う際、北総鉄道の社員であることを判別できる目印とし、社員は常時このワッペンを携帯し、緊急時には胸元に貼り、支援活動を行います。



・運行状況の情報配信

運行情報は当社ホームページや運行情報ディスプレイ(全駅改札入り口付近に配置)、公式 Twitter 等を通じてお客様へ案内しています。また、「列車走行位置」の情報を WEB 上で行っています。



運行情報ディスプレイ



安全に関する教育

・乗務員による訓練・研修

乗務員に対し、事故や車両故障等を想定した「乗務員集合教育」を机上及び実車を使用して実施し、異常時に速やかに対応ができるよう知識・技能の保有に努めています。



分割・併合訓練

・駅係員による訓練・研修

駅係員が各運動期間中に小研修を実施し、事故や異常時等における対応について、定期的に確認を行っています。



転てつ器（ポイント）手回し訓練

・技術係員による訓練・研修

技術係員は日頃より技術・技能の維持向上と異常時の迅速な対応を目的に各種訓練等を行っています。



保守作業車の脱線復旧訓練（施設）



京成グループでの技術発表会（電気）



脱線復旧訓練（車両）



・北総鉄道工事安全推進協力会

夏季の輸送安全総点検及び年末年始輸送安全総点検に合わせ、当社技術部全社員と協力会社社員を対象に「技術部安全衛生懇談会」「北総鉄道工事安全推進協力会」を開催し、安全及び衛生に関する事項について周知徹底並びに啓発を図るとともに、横断的に情報交換を行い、安全確保に努めています。



・施工管理者資格の発行

一定以上の経験、知識・技能を有する協力会社の従事員に、施工管理責任者の資格発行を行い、所属社員と同等の軌道内作業、夜間作業時の施工管理を行ってもらっています。

施工管理責任者の有資格者に対しては、鉄道従事員教育を年1回、更に知識・技能の保持を確認するための資格更新の講習を3年ごとに実施しています。

社員の声



電力指令所 司令副助役 安部 明秀

私たち電力指令所は、電力会社との受電開始及び停止の打合せや操作計画の作成及び機器操作、電車線や高圧配電線の給電及び停電操作等を行っています。これらの業務を安全確実に実施するために、関係箇所との打ち合わせを徹底し、機器操作の際は指差喚呼等基本動作を励行しており、あわせて停電作業チェックシートや電力管理システムの誤操作防止機能を使用して事故防止を図っています。

電力指令所で行っている電力供給という業務は、電気鉄道の要となることから、日頃より規程類の確認や他社の事故故障事例等も参考にし、ヒューマンエラーの防止に取り組んでいます。



・サービス介助士の資格所得

高齢のお客様やお体の不自由な方をはじめ、全てのお客様に安心してご利用いただけるよう、「サービス介助士」を駅係員に取得させています。2021 年度末現在、全ての駅係員が取得しており、「サービス介助士」と明記した胸章を着用しています。



※『サービス介助士』とは、NPO法人「日本ケアフィットサービス協会」が認定する資格です。

・盲導犬ユーザー等対応講習

毎年、駅係員及び関係社員を対象に盲導犬ユーザーや視覚障がい者の方を講師に迎え、お声掛けや手引きなどの対応について講習を実施しています。



乗務員の健康状態の確認

乗務前に写真記録付きアルコール検知器を使用し、酒気を帯びていないことを確認後、点呼執行者との対面点呼により健康状態の確認を行っています。また、SAS(睡眠時無呼吸症候群)スクリーニング検査を実施し、SAS と疑われる場合には医師の診療を受けています。



写真記録付アルコール検知器による測定



事故等の発生状況

2021 年度においては、当社の有責事故及びインシデントは発生しておりません。

しかし、8月に大雨により近接する法面が崩れ、土砂が軌道内に流入した輸送障害が発生しました。また 2020 年度に京成電鉄青砥駅構内で発生した、当社所属車両の列車脱線事故については 2022 年 3 月に運輸安全委員会より「鉄道事故調査報告書」が公表されました。いずれの事象においても再発防止策を徹底し、お客様に安心してご利用いただけるよう安全を最優先に取り組んでまいります。

京成電鉄青砥駅構内での当社所属車両の列車脱線事故について

発生日時：2020 年 6 月 12 日（金）10：16 頃

発生場所：京成電鉄青砥駅構内（上り線）

編 成：北総鉄道所属車両 7800 形 8 両編成

概 況：当該列車が青砥駅 1 番線進入時、前 6 両がホームに進入した時点で 7 両目第 2 台車の脱線、及びパンタグラフが破損しました。

なお、当該車両に乗車していたお客様に負傷者はいませんでした。

原 因：【「鉄道事故調査報告書」からの抜粋】

前から 7 両目の台車の側ばりに亀裂が発生したことにより、当該台車の輪重（各車輪にかかる車体荷重）のアンバランスが大きくなり、車輪がレールに乗り上がったことによるものと考えられます。

再発防止策：

定期検査時の台車枠への磁粉探傷検査実施前に、本件亀裂発生箇所及び同様箇所に印をつけることで重点点検箇所を詳細に明示するとともに、更なる検査の精度向上のため、検査時に本件亀裂発生箇所と同一の側ばり下面の塗装除去を徹底します。また検査員 2 名によるダブルチェックを行い、検査体制を強化します。

その他、月検査においては、側ばり下面を重点的に検査（汚れ等をふき取り後の目視点検と打音検査）し、列車検査についても目視点検の強化と打音検査を実施します。



定期検査のダブルチェック(2名体制で実施)



2021年8月15日に発生した道路法面崩壊に伴う輸送障害(災害支障)について

発生日時：2021年8月15日（日）5:07頃

発生場所：小室駅～千葉ニュータウン中央駅間（上り線）

発生事象：線路内に道路法面の土砂・排水側溝が流入

概況：前日から大雨の影響により鉄道敷地外の道路法面が土砂崩れを起こし、上り線内に土砂及び排水側溝が流入。

長時間にわたり新鎌ヶ谷～印旛日本医大駅間の運転を見合せました。

対策：・道路管理者に原因を究明した内容を含めた再発防止を要請
(同様な構造部の法面も含めて)

- ・技術係員による鉄道運行に影響を及ぼしそうな線路近傍施設に対する警戒注視
- ・輸送障害が発生した際に、早期の運転再開を図るため鉄道係員が執るべき行動手順を記したマニュアルの作成とマニュアルに沿った対応訓練の実施



同業他社で発生した列車内での傷害事件を受けた北総鉄道の対応について

2021年の8月と10月に同業他社の走行中の列車内で傷害事件が発生しました。事件後、9月と12月に国土交通省から今後の対策が発表され、当社においても、国の対策に従い下記の取組みを実施し、犯罪の未然防止、及び列車内で事件が発生した場合に、お客様の安全な避難誘導を図られるようにしました。

<警備の強化>

- 社員・警備員による駅ホーム・列車内の巡回
- 警察への警戒強化依頼
- 業界共通ポスターの掲出や駅・車内放送による警戒警備の周知と利用者への協力呼びかけ
- 防犯カメラを全駅、及び一部の列車内に設置

<被害回避・軽減対策>

- 全列車に車内非常設備の案内ステッカーの貼付
- 手荷物検査の実施に関するポスターの掲出
- 走行中の列車内で非常事態が発生した場合には、お客様の安全を確保するため、原則、次駅での緊急停車
- 全駅・全列車に防護盾・防刃手袋の配備
- 警察と連携し、講習会・合同訓練の実施



8. 新型コロナウイルス感染予防に対する取り組み

当社では、新型コロナウイルス感染予防のため、次の対策を行っています。（2022年6月現在）

〈お客様に対する主な取り組み〉

- ・改札口に飛沫感染防止用シールドの設置やアルコール消毒液の設置
- ・券売機や精算機の抗ウイルスコーティング加工や定期清掃による階段やエスカレーターの手すりなどの消毒
- ・車内の窓開けによる換気
- ・車内の抗菌、抗ウイルス加工（シート、つり革、手すりなど）
- ・駅構内や車内及び当社ホームページに感染予防のための啓発ポスターの掲出

〈社員に対する主な取り組み〉

- ・お客様と接する際のマスクの着用、手洗いやうがい、アルコール消毒液による手指消毒の徹底
- ・出勤前及び出勤時の検温並びに体調確認の徹底
- ・駅事務室の換気や複数の社員が触れる主な箇所の消毒の徹底

お客様におかれましても、手洗いやうがい、咳エチケットのほか、時差通勤など混雑時間帯を避けたご乗車にご協力をお願い申し上げます。



改札口の飛沫感染防止用シールドの設置



アルコール消毒液・抗菌コイントレーの設置



券売機・自動精算機
抗ウイルスコーティング加工



車内の抗菌・抗ウイルスコーティング作業



9. ご利用のお客様へのお願い

・電車を安全にご利用いただくために

1. かけ込み乗車はおやめください

かけ込み乗車は、列車遅れの原因となるだけでなく、思わぬケガや事故にもつながり、大変危険です。余裕をもったご乗車をお願いいたします。



2. ホームでは黄色い点状ブロックの内側をお歩きください

列車から降車されたお客様が、ホームを歩行中に転倒し発車直後の列車に接触する事故や線路に転落する事故が発生しております。ホームでは列車から離れ、黄色い点状ブロックの内側をお歩きください。

3. 駅やホームでの「ながら歩き」はおやめください

歩行中にスマートフォン等を操作する「ながら歩き」は、お客様同士の接触やホームから線路への転落のおそれがあり、大変危険です。おやめください。



4. 転倒、転落にご注意ください

ご高齢のお客様や酔ったお客様の階段やコンコース等での転倒並びにホームから線路への転落が発生しております。ホームから線路への転落を発見した場合は、直ちに、お近くの「非常停止ボタン」を押し、絶対に線路に降りないでください。

5. 戸袋に手を引き込まれないようにご注意ください

ドアが開く際は、お子様の手やカバン等が戸袋に引き込まれないようにご注意ください。

6. 持ち込みを禁止する危険物がございます

駅及び車内への危険物の持ち込みは法令等により禁止されています。
お客様の安全のため、手荷物の点検をお願いすることがございます。



7. 不審物を発見した場合はお手を触れずにお知らせください

駅構内や車内で不審物を発見された場合は、お手を触れずにお近くの駅係員・乗務員、または警戒中の警備員にお知らせください。

8. 線路内に立ち入らないでください

線路内は大変危険です。絶対に立ち入らないでください。

9. エスカレーターご利用のお願い

エスカレーターをご利用になる際、転倒や他のお客様と衝突し転倒させるなどの事象が発生しています。エスカレーターでは立ち止まり、手すりにつかまりご利用ください。



10. お声かけサポートのお願い

お困りになられている方をお見かけになられた場合は、お声かけにご協力をお願いいたします。



安全報告書に関する
お客様のご意見をお寄せください

ホームページ内ご意見フォームまで
【北総鉄道ホームページ】 <http://www.hokuso-railway.co.jp>



北総鉄道株式会社
Hokuso- Railway Co.,Ltd.

千葉ニュータウン鉄道株式会社
Chiba Newtown Railway Co.,Ltd.

編集・発行：北総鉄道株式会社 安全推進担当
2022年6月発行

